
Implementing Cisco Collaboration Core Technologies v1.2 (350-801)

試験の概要： Implementing Cisco Collaboration Core Technologies v1.2 (CLCOR 350-801) は、CCNP 認定および CCIE Collaboration 認定に関連する 120 分間の試験です。本試験では、インフラストラクチャと設計、プロトコル、エンドポイント、Cisco IOS XE ゲートウェイとメディアリソース、コールコントロール、QoS、コラボレーションアプリケーションなど、コアコラボレーションテクノロジーの実装に関する受験者の知識が評価されます。本試験の対策として、「Implementing Cisco Collaboration Core Technologies」コースが用意されています。

本試験の一般的な出題内容を以下に示します。ただし、実際の試験では、ここに記載のない関連するトピックが出題される場合もあります。また、試験の内容をより適切に反映し、明確にするため、以下に示す出題内容は予告なく変更される場合があります。

- 20%** **1.0 インフラストラクチャと設計**
- 1.1 CSR/PA に記載されているシスコのオンプレミス、ハイブリッド、クラウドコラボレーションソリューションの設計要素の説明
 - 1.1.a ライセンス (Smart、Flex)
 - 1.1.b 導入規模
 - 1.1.c 帯域幅
 - 1.1.d 高可用性
 - 1.1.e ディザスタリカバリ
 - 1.1.f ダイアルプラン
 - 1.1.g セキュリティ (証明書、SRTP、TLS、OAuth、SSO)
 - 1.1.h QoS
 - 1.2 Expressway や Cisco Unified Border Element などのシスココラボレーションアーキテクチャにおけるエッジデバイスの目的の説明
 - 1.3 シスココラボレーションソリューションをサポートするために、以下のネットワークコンポーネントを設定
 - 1.3.a DHCP
 - 1.3.b NTP
 - 1.3.c CDP
 - 1.3.d LLDP
 - 1.3.e LDAP
 - 1.3.f TFTP および HTTP
 - 1.3.g 証明書
 - 1.4 シスココラボレーションソリューションにおける以下のネットワークコンポーネントのトラブルシューティング
 - 1.4.a DNS (A/AAAA、SRV、PTR レコード (逆引きのためのレコード))
 - 1.4.b NTP
 - 1.4.c Cisco UCM での LDAP の統合
 - 1.4.d TCP/TLS ハンドシェイク

- 1.5 シスコ コラボレーション ソリューションをサポートする各コンポーネントの説明
 - 1.5.a SNMP
 - 1.5.b DNS
 - 1.5.c ディレクトリコネクタ

- 1.6 Webex Control Hub の機能の説明

- 20%** **2.0 プロトコル、コーデック、エンドポイント**
 - 2.1 SIP 通話における以下の要素のトラブルシュート
 - 2.1.a 通話の確立および切断
 - 2.1.b SDP
 - 2.1.c DTMF
 - 2.1.d 保留/保留解除/転送

 - 2.2 指定されたシナリオに適したコラボレーションコーデックの特定

 - 2.3 SIP エンドポイントの展開
 - 2.3.a 手動
 - 2.3.b セルフプロビジョニング
 - 2.3.c 一括管理ツール (BAT)
 - 2.3.d クラウドデバイスのオンボーディング
 - 2.3.e アクティベーションコードによるデバイスのオンボーディング (MRA/オンプレミス)

 - 2.4 SIP エンドポイントのトラブルシュート

 - 2.5 Cisco UCM における SIP OAuth の説明

- 15%** **3.0 Cisco IOS XE ゲートウェイとメディアリソース**
 - 3.1 音声ゲートウェイ要素の設定
 - 3.1.a DTMF
 - 3.1.b 音声変換ルールおよびプロファイル
 - 3.1.c 優先コーデックのリスト
 - 3.1.d ダイアルピア

 - 3.2 ダイアルピアマッチングのトラブルシュート

 - 3.3 適切な IOS XE メディアリソースの特定

 - 3.4 クラウド通話におけるハイブリッド ローカル ゲートウェイの説明

- 25%** **4.0 コールコントロール**
 - 4.1 Cisco UCM におけるダイアル番号分析プロセスの説明

 - 4.2 Cisco UCM における不正通話防止の実装

 - 4.3 Cisco UCM におけるグローバル化されたコールルーティングの設定
 - 4.3.a ルートパターン (従来形式および +E.164 形式)

- 4.3.b トランスレーションパターン
- 4.3.c 標準ローカルルートグループ
- 4.3.d トランスフォーム
- 4.3.e SIP ルートパターン
- 4.3.f URI 通話に関連する ILS
- 4.3.g パーティションおよびコーリング サーチ スペース (CSS)

- 4.4 モバイルおよびリモートアクセス (MRA) の説明

- 4.5 Webex Calling のダイヤルプラン機能の説明
 - 4.5.a ロケーションおよび番号
 - 4.5.b 発信および着信の権限
 - 4.5.c 転送および転送先指定の制限

- 10%** **5.0 QoS**
 - 5.1 音声とビデオの品質低下につながる可能性のある問題の説明
 - 5.1.a 遅延
 - 5.1.b ジッター
 - 5.1.c パケット損失
 - 5.1.d 帯域幅

 - 5.2 音声とビデオの QoS 要件の説明

 - 5.3 ネットワークに QoS を提供するためのクラスモデルの説明
 - 5.3.a 4/5 クラスモデル
 - 5.3.b 8 クラスモデル
 - 5.3.c QoS ベースラインモデル (11 クラス)

 - 5.4 コラボレーションに関連する以下の DiffServ 値の目的と機能の説明
 - 5.4.a EF
 - 5.4.b AF41
 - 5.4.c AF42
 - 5.4.d CS3
 - 5.4.e CS4

 - 5.5 LAN ベースの分類およびマーキングにおける QoS の信頼境界とその重要性に関する説明

 - 5.6 ロケーションベースの CAC 帯域幅の要件の説明および決定

 - 5.7 LLQ (クラスマップ、ポリシーマップ、サービスポリシー) の設定

- 10%** **6.0 コラボレーション アプリケーション**
 - 6.1 Cisco Unity Connection でのメールボックスおよび MWI の設定
 - 6.2 Cisco Unity Connection でのコールコントロールに対する SIP 統合オプションの設定
 - 6.3 Cisco Unity Connection のコールハンドラの説明
 - 6.4 Webex アプリケーションのハイブリッドまたはクラウド登録の展開